

One for all, All for one

特別支援教室に関わる 主な先生たち



校長



副校長



学級担任



特別支援教育コーディネーター



巡回指導教員
(1校2~3人・週1~2日程度)



特別支援教室専門員
(1校1人・週4日)



臨床発達心理士等
(1校・年間10回)



小金井市教育相談所
臨床心理士
(随時)



都立特別支援学校
特別支援教育コーディネーター
(随時)

特別支援教室に関わる先生たちが協働して、多面的に児童の状況を把握し、情報を共有します。



対象児童が在籍している学級



指導の工夫

在籍学級担任

連携

助言

児童の行動観察、
在籍学級での指導

巡回指導教員

学級の様子を観察し、対象児童が抱える困難さの状況や、指導すべき内容を詳細に把握します。



特別支援教室での成果を踏まえ、在籍学級において必要となる配慮点を明らかにして、適切に助言します。



巡回指導教員による観察記録の作成・報告
巡回指導教員・学級担任の指示に基づく学習支援

特別支援教室専門員

「特別な指導」の目的は、在籍学級において児童が抱えている困難さを改善することによって、児童が在籍学級で有意義な学校生活を送れるようになることです。



指導対象児童は、週に1~8時間、校内に設置された特別支援教室へ「特別な指導」を受けに行きます。

指導対象児童は、特別支援教室で学んだことを在籍学級で生かします。

巡回指導教員は、特別支援教室で指導するとともに、在籍学級での指導や支援も行います。

特別支援教室



特別支援教室の時間割の調整
教材・教員の調整、教材の作成

特別支援教室専門員

指導

児童が抱える困難さや課題の改善
又は克服にターゲットを絞った
指導を必要な期間行います。



巡回指導教員

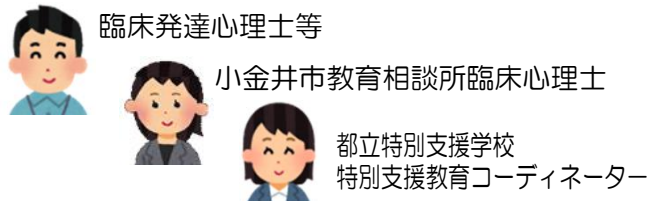
個別指導計画に基づく具体的な指導の内容が、対象児童に適切であるのかを丁寧に見ていきます。



巡回指導教員による指導記録の作成・報告
巡回指導教員の指示に基づく学習支援

特別支援教室専門員

専門家による助言



在籍学級や特別支援教室で行動観察を行い、巡回指導教員・在籍学級担任等に指導上の配慮について助言します。



日程調整・連絡
助言等の記録の作成・報告



校内委員会

- ◇ 特別支援教室利用の申請について検討 (指導目標・指導方針・指導時間の設定)
- ◇ 特別支援教室利用の終了について検討

【校内委員会の委員構成】

校長、副校長、特別支援教育コーディネーター、巡回指導教員、対象児童の学級担任・学年主任、養護教諭、生活指導主任、教務主任、専門家、その他必要と思われる者

日程調整・連絡
検討事項等の記録の作成・報告



教員の理解促進と指導力向上

- ◇ 校内研修
巡回指導教員や特別支援学校の教員等が講師となり、事例研究等も含めた研修を行います。
- ◇ 授業研究
通常の学級の授業研究において、特別支援教室を利用する児童を含めた、全ての児童が興味・関心をもって意欲的に学習に取り組める授業の在り方を検討し、特別支援教育の理解を深めます。
- ◇ OJT
巡回指導教員が学級担任とチーム・ティーチングを行う際、学級担任は巡回指導教員から児童の実態把握の方法や指導の手立て、教材や補助具の作り方と活用の仕方などを学びます。

学校と家庭（保護者）との連携

- ◇ 特別支援教室で受けている特別な指導が、在籍学級でどのように生かされているかを学級担任と巡回指導教員と保護者と共有します。
- ◇ 学校と家庭が連携した取り組みができるように、家庭で短時間でできることを紹介します。

(例)



感想等の記録の作成・報告

